

報告第2号

所管事務調査報告

令和3年9月10日

洞爺湖町議会議長 大西 智 様

経済常任委員会
委員長 千葉 薫

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

記

○所管事務調査その1

- 1 調査事項 洞爺駅構内エレベーター整備事業の進捗状況について
- 2 調査日 令和3年7月9日（金）
- 3 出席委員 千葉委員長、大屋副委員長、篠原委員、立野委員、石川委員、板垣委員
- 4 説明員等 JR北海道 鉄道事業本部工務部工務技術センター
佐野総務部長、企画防災課 佐藤主幹
- 5 調査結果

JR洞爺駅構内エレベーター整備事業は、令和2年度から工事が行われており、本年8月初旬には完成する見込みとなっている。

駅構内の第一乗降場（駅舎側）と第二乗降場（下り本線側）の2カ所に、11人乗りのエレベーターが設置され、地域住民をはじめ、大きな荷物を持った国内国外旅行者、高齢者、障害者など洞爺駅を利用する多くの人の移動円滑化促進に大いに寄与し、駅のバリアフリー化による利便性と安全性の向上にも繋がるものとなっている。

なお、JR洞爺駅構内においては老朽化が著しく、構内の錆びた支柱などが非常に目立つことから更新整備も喫緊の課題であり、洞爺湖観光の玄関口である駅構内の美装機能・保護機能が図られるよう、整備の実施に向けた積極的な検討が必要である。

○所管事務調査その2

- 1 調査事項 農業におけるドローンの活用状況について
- 2 調査日 令和3年7月9日（金）
- 3 出席委員 千葉委員長、大屋副委員長、篠原委員、立野委員、石川委員、板垣委員
- 4 説明員等 農業振興課 片岸課長、山本主査、今村主事
- 5 調査結果

令和元年度に、洞爺湖町鳥獣被害防止対策協議会にて、国の補助事業を活用し、スピーカーや赤外線カメラなどを搭載したドローン1台を導入している。町においては、冬期にエゾシカ一斉捕獲を行っているが、事前にシカの行動把握調査を実施しており、その調査が捕獲率向上において重要なものとなっている。

今般導入したドローンにおいては、本年1月の事前調査から稼働しており、支援機器として予想以上の効果が見られることから、更に1台を購入し被害防止活動の取組みを進めていきたいとしている。

J Aとうや湖農協においても、大型のドローンを所有し農薬散布用として活用している。現在は、農家個々が購入して活用することは難しいことから、農協が主体となり実施しているとのことであるが、様々な意見を取り入れながら農業においてより有効的な活用の推進に取り組んでいただきたい。

今回の調査にて、実際にドローンを屋外で起動させ実演していただき、その性能の高さとともに様々な用途に活用できることも実感できた。今後は、他の取組みへ活用することも積極的に検討し、活用促進していくことが必要である。